

# 校正ノート

Proofreading note

No.33  
2017.7



呉南印刷株式会社

本社工場：栃木県鹿沼市緑町3-18-13  
TEL(0289)621-4141(代)  
編集：デザイン部 校正担当／中里(内線60)  
制作／田村(内線30) 大橋(内線60)

## 7月

七月といえば花火ですね。大きい花火を間近で見ると、ドン！という音が体内にひびいて夏の醍醐味を味わった気分になります。小さい手持ち花火も好きなので、今年は両方楽しもうと思います。

(デザイン部 田村)

## レトリック② 序詞・縁語・押韻

レトリック(修辭法)とは、文章の効果を高めるために明確かつ適切に美しく表現し、文章にふさわしい構成を与える技法のこと。

### 序詞

和歌などで、ある語句を導き出すために前置きとして述べることば。論理的には本旨と無関係。枕詞と同じ働きをするが、四音・五音などの一句から成る枕詞とは異なり、序詞には音数の制限がない。



### 例

あしひきの山鳥の尾のしだり尾の  
ながながし夜をひとりかも寝む

百人一首・柿本人麻呂

駿河なる宇津の山べのうつつにも  
夢にも人に逢はぬなりけり

伊勢物語・在原業平

立ち別れいなばの山の峰に生ふる  
まつとしきかば今かへりこむ

古今和歌集・在原行平

No.30レトリック①の枕詞でも取り上げたが、冒頭の「あしひきの」が「山」にかかる枕詞、それを含む「あしひきの山鳥の尾のしだり尾の」の三句が、その後の「ながながし」を導き出す序詞となっている。長い夜であることを言いたく、山鳥の尾が長いことを引き合いに出し、夜を修飾している。

駿河(静岡県)にある宇津の山のほとり、そのうつつ(＝現実)でも、夢でもあなたにお逢いしなかったのでした。  
「駿河なる宇津の山べの」が、「宇津」と同音の「つ」を導き出す序詞。

お別れして(私は任国の因幡の国鳥取県へ行くが、その因幡の山の峰に生えている松の、その「まつ」ということばのように私を待つと聞いたならすぐに帰ってくるつもりです。「いなば」は「往い」なばと「因幡」の、「まつ」は「待つ」と「松」との掛詞、「いなばの山の峰に生ふる」が「まつ」を導き出す序詞という構造になっている。

### 縁語

意味上、もしくは発音上、互いに密接な関係にある語を用いて、表現におもしろみをつける。

### 例

唐衣きつつなれにしつましあれば  
はるばるきぬる旅をしぞおもふ

伊勢物語・在原業平

鈴鹿山うき世をよそにふり捨てて  
いかになりゆくわが身なるらむ

新古今和歌集・西行

玉の緒よ耐えなば絶えねながらへば  
しのぶることの弱りもどする

新古今和歌集・式子内親王

着つつて体になじんた唐衣のように、なれ親しんだ妻が都にいるので、都を遠く離れてはるばる来てしまった旅をしみじみと思う。  
慣れ(馴れ)、妻(妻)、はるばる(張る)、来ぬる(着ぬる)が、それぞれ「衣」の縁語。

「鈴」に関係のある「振り」「鳴り」「成り」と掛詞という語を意識的に用いて、鈴の音が歌全体に鳴り響いているような表現効果をあげている。

私の命よ、絶えるならはいつそ絶えてしまえ。もし生きながらえていると、秘め続ける力が弱り、恋を人に知られてしまつていけないから。  
「絶え」「なからへ」「弱り」が、「緒」の縁語。

### 押韻

「韻を踏む」ともいう。句のはじめ、また終わりに同一音や類似音など同じ響きの音を置くこと。その繰り返しで、心地よいリズムをつくる。文頭にあるものを頭韻、文末にあるものを脚韻という。

### 漢詩の例

白髪三千丈 縁愁似箇長 不知明鏡裏 何處得秋霜

李白「秋浦歌」

(白髪三千丈 愁いに縁りて箇くの似く長し) 知らず明鏡の裏 何れの処にか秋霜を得たる)

「長」(音:yō-u)と「霜」(音:sō-u)が、韻を踏む。

### 英詩の例

Yesterday all my troubles seemed so far away.  
Now it looks as though they're here to stay.  
Oh I believe in yesterday.

BEATLES "Yesterday"

最初のYesterdayの-dayと、1行目・2行目・3行目それぞれの終わりの-away, stay-dayが、韻を踏んでいる。

## 七月歳時記

- 2日(日) 半夏生 …… この日に降る雨のことを半夏雨と言い、大雨になると言う
- 7日(金) 小暑 …… 二十四節気。この頃から暑中見舞いを出し始める(正式には大暑から)
- 七夕 …… 星祭りとも、五節句の一つ。月遅れで行く地方もある
- 17日(月) 海の日 …… 7月は、「海の月間」でもある
- 23日(日) 大暑 …… 二十四節気。涼を得るための「打ち水」。元々は神様が通る道を清めるため
- 25日(火) 土用の丑の日 …… 今年は二の丑があり、8月6日(日)
- 26日(水) 日光の日 …… 820年、弘法大師が日光と名づける。もともとは「二荒山(ふたらさん)」と言ったが、音読みで「にっこうさん=日光山」とした。

- ・夏日は最高気温が25℃以上、真夏日は30℃以上、猛暑日は35℃以上。
- ・山滴る(やましたたる) 夏山の青葉がみずみずしいさまを表現。  
春は山笑う、秋は山装う、冬は山眠る
- ・土用干し・土用の虫干し 衣類や書物を陰干して、カビや虫の害から守る。

鹿沼市磯山神社  
紫陽花と浴衣

## かつ散歩 vol.14



例年6月中旬～7月初旬にかけて、参道・社殿周囲に青・白・紫のアジサイが咲き揃います。夕刻にはちやうちに灯りが燈され、淡い光に映し出されるアジサイが幽玄な雰囲気を出します。昨年、浴衣の娘さんたちが来ており夏を感じました。浴衣は平安時代からの歴史があり現代では粋なファッションのひとつ夏の風物詩ですね。磯山神社は大ヒット映画「新垣結衣さん主演「恋空」」のロケ地にもなりました。